

平成27年3月期 中間期決算説明会

平成26年11月26日



イメージ情報開発株式会社

東証JASDAQ：証券コード 3803

- I グループ概要**
- II 平成27年3月期 中間期決算概要**
- III 平成27年3月期 通期の見通しと今後の取組**

【設 立】	1975年（昭和50年）10月																														
【代 表 者】	代表取締役社長 代永 衛																														
【資 本 金】	4億6,705万円																														
【事 業 内 容】	情報システムの企画・開発、保守・管理運営																														
【本社所在地】	東京都千代田区猿楽町 2-4-11 犬塚ビル																														
【子 会 社】	イクオス株式会社/株式会社インスパイア/株式会社北栄（持分法適用関連会社）																														
【沿 革】	<table><tr><td>昭和50年10月</td><td>会社設立</td></tr><tr><td>昭和51年 4 月</td><td>コンピュータ&イメージデータの複合処理事業を開始</td></tr><tr><td>昭和55年12月</td><td>本社事務所を東京都港区新橋に移転</td></tr><tr><td>昭和59年 4 月</td><td>システムインテグレーション事業に進出</td></tr><tr><td>平成16年 4 月</td><td>セキュリティサービス販売を開始</td></tr><tr><td>平成17年 9 月</td><td>インターネットデータセンター開設</td></tr><tr><td>平成18年 4 月</td><td>大阪証券取引所(現東京証券取引所)JASDAQへ株式上場</td></tr><tr><td>平成19年 5 月</td><td>本社事務所を東京都港区芝大門に移転</td></tr><tr><td>平成21年 7 月</td><td>NSセミコン株式会社を子会社化</td></tr><tr><td>平成21年12月</td><td>イクオス株式会社設立</td></tr><tr><td>平成23年 7 月</td><td>本社事務所を東京都千代田区猿楽町に移転</td></tr><tr><td>平成24年 9 月</td><td>株式会社インスパイアを子会社化</td></tr><tr><td>平成24年12月</td><td>NSセミコン株式会社を子会社から除外</td></tr><tr><td>平成25年 8 月</td><td>株式会社北栄を持分法適用関連会社化</td></tr><tr><td>平成25年10月</td><td>株式を200分割</td></tr></table>	昭和50年10月	会社設立	昭和51年 4 月	コンピュータ&イメージデータの複合処理事業を開始	昭和55年12月	本社事務所を東京都港区新橋に移転	昭和59年 4 月	システムインテグレーション事業に進出	平成16年 4 月	セキュリティサービス販売を開始	平成17年 9 月	インターネットデータセンター開設	平成18年 4 月	大阪証券取引所(現東京証券取引所)JASDAQへ株式上場	平成19年 5 月	本社事務所を東京都港区芝大門に移転	平成21年 7 月	NSセミコン株式会社を子会社化	平成21年12月	イクオス株式会社設立	平成23年 7 月	本社事務所を東京都千代田区猿楽町に移転	平成24年 9 月	株式会社インスパイアを子会社化	平成24年12月	NSセミコン株式会社を子会社から除外	平成25年 8 月	株式会社北栄を持分法適用関連会社化	平成25年10月	株式を200分割
昭和50年10月	会社設立																														
昭和51年 4 月	コンピュータ&イメージデータの複合処理事業を開始																														
昭和55年12月	本社事務所を東京都港区新橋に移転																														
昭和59年 4 月	システムインテグレーション事業に進出																														
平成16年 4 月	セキュリティサービス販売を開始																														
平成17年 9 月	インターネットデータセンター開設																														
平成18年 4 月	大阪証券取引所(現東京証券取引所)JASDAQへ株式上場																														
平成19年 5 月	本社事務所を東京都港区芝大門に移転																														
平成21年 7 月	NSセミコン株式会社を子会社化																														
平成21年12月	イクオス株式会社設立																														
平成23年 7 月	本社事務所を東京都千代田区猿楽町に移転																														
平成24年 9 月	株式会社インスパイアを子会社化																														
平成24年12月	NSセミコン株式会社を子会社から除外																														
平成25年 8 月	株式会社北栄を持分法適用関連会社化																														
平成25年10月	株式を200分割																														

イメージ情報開発グループについて



「システム設計・構築を基盤にマーケティング機能を付加した総合サービスによる企業ビジネスの支援」、
「自社製品の販売・サービス提供」、「特異性のある、子会社の育成、他企業とのシナジー」で構成します。

砂・砂利・砕石等の採取及び販売
その他の建築材料の卸売業

メディカル&アンチ・エイジングモール運営
及び関連商品販売

マーケティングコンサル
ECサイト構築

特異性のある企業
との提携事業

新たな提携

北栄

イクオス

インスパイア

特異性のある企業・子会社との
アライアンスによる発展的なグループ経営

ITを駆使したマーケティングソリューションにより
企業ビジネスの支援・新規事業の推進

コンサルティング、設計・開発
運用保守、BPO、商品販売

Core Business

ECサイト運営

決済
収納代行
サービス

地域活性化
サービス

ネットワーク
セキュリティ

企画・開発・販売

特定業種向け
ソフトウェア

IT関連機器販売
ソフトウェアパッケージ
商品販売

中堅・中小規模企業、
特定マーケット向け
ソフトウェア・パッケージ
Webデザイン

ハミングハズ社の最新
セキュリティシステム
を中心に拡販・運用

商店街モールの運営

地方自治体、商工会議所、商店街等との提携による
地域活性化サービス（決済、ポイント、Web等）

- I **グループ概要**
- II **平成27年3月期 中間期決算概要**
- III **平成27年3月期 通期の見通しと今後の取組**

【単位：百万円】

	平成26年3月期 年度末実績	平成27年3月期 中間期末実績	対前期比	
			増減	増減率 (%)
資産合計	978	845	△133	△ 13.6
流動資産	491	443	△48	△ 9.7
固定資産	486	401	△85	△17.5
負債合計	338	339	0	0.1
流動負債	213	217	3	1.6
固定負債	124	121	△3	△2.3
純資産合計	639	506	△133	△ 20.9
負債純資産合計	978	845	△133	△ 13.6

- ✓ 流動資産：現預金 68百万円減、売掛金 61百万円減、短期貸付金 86百万円増
- ✓ 固定資産：長期貸付金 27百万円減、投資有価証券 43百万円減
- ✓ 流動負債：買掛金 36百万円減、前受金26百万円増、短期借入金 24百万円増
- ✓ 固定負債：退職給付に係る負債 6百万円増、長期借入金 2百万円減
- ✓ 純資産：利益剰余金 124百万円減

中間期損益計算書【連結】



【単位：百万円】

	平成26年3月期 中間期実績	平成27年3月期 中間期実績	対前期比	
			増減	増減率 (%)
売上高	367	358	△10	△2.6
売上総利益	69	48	△20	△29.5
販管費	121	143	22	18.1
営業利益	△52	△94	△42	—
経常利益	△54	△133	△79	—
中間純利益	△52	△124	△72	—

- ✓ 売上高：BPO/サービス分野は堅調、消費税引き上げ前駆込受注により設計/構築、運用/保守が減少
- ✓ 経常損失/中間純損失：売上原価率上昇、持分法による投資損失42百万円を計上
投資有価証券売却益11百万円計上

■ 当中間期連結業績

◎ 売上高 358百万円(前期:367百万円)

(単位: 百万円)

	コンサルティング /設計/構築	運用/保守	商品販売	BPO/ サービス	合計
平成26年3月期中間期	152	111	12	90	367
平成27年3月期中間期	135	101	30	90	358
前年同期比	88.6%	90.8%	247.3%	99.6%	97.4%

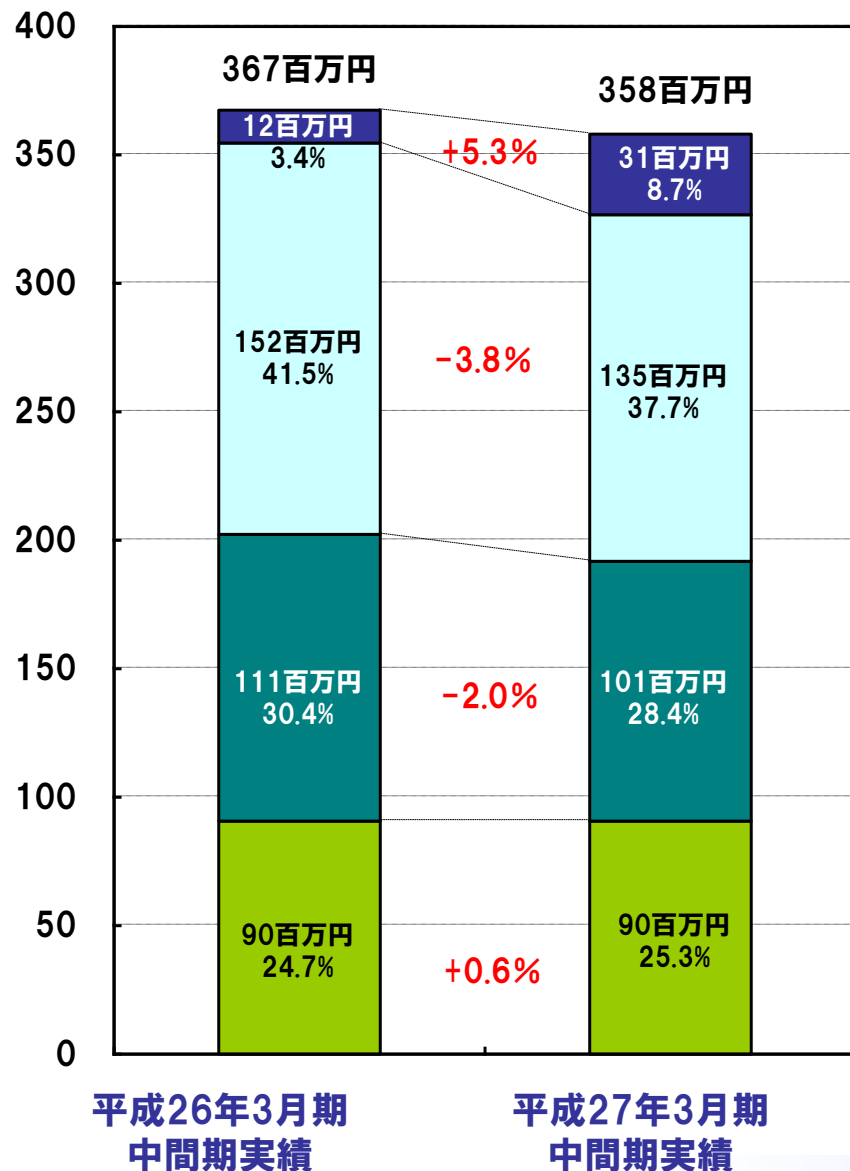
BPO/サービス分野は堅調に推移するも、コンサルティング/設計/構築、運用/保守が減少

◎ 経常損失 133百万円(前年同期:経常損失 54百万円)

◎ 中間純損失 124百万円(前年同期:純損失 52百万円)

売上原価率上昇、持分法による投資損失を計上、特別利益に投資有価証券売却益を計上

【単位:百万円】



商品販売

子会社イクオスが平成25年9月より化粧品販売事業を開始

コンサルティング/設計/構築

大企業からの受注を維持も単価低下

運用/保守

Web更新等の業務が減少

BPO/サービス

商工会議所ならびに地域商店街等向けクレジット決済サービスの取扱い、デジタルサインエージによる地域活性化サービスの新規受注で堅調

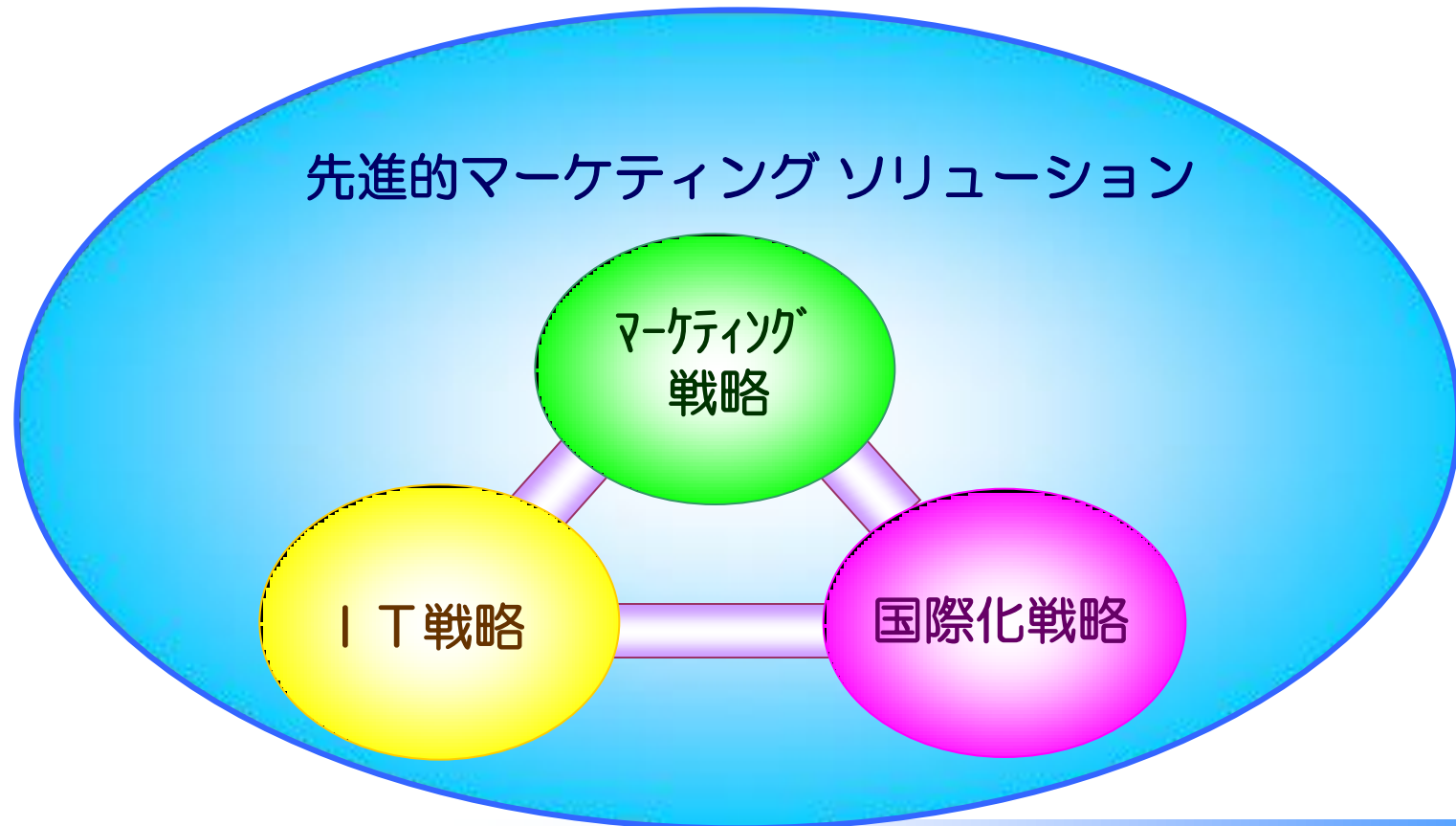
【単位：百万円】

	平成26年3月期 中間期実績	平成27年3月期 中間期実績	対前期比 増減
営業活動によるキャッシュフロー	△ 94	△ 30	64
投資活動によるキャッシュフロー	△ 21	△ 58	△37
財務活動によるキャッシュフロー	4	20	16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 111	△ 68	44
現金及び現金同等物の中間期末残高	54	20	△34

✓ 営業活動CF：税金等調整前中間純損失	126百万円
仕入債務の減少	36百万円
✓ 投資活動CF：貸付による支出	111百万円
✓ 財務活動CF：借入による収入	61百万円
借入金の返済による支出	40百万円

- I **グループ概要**
- II **平成27年3月期 中間期決算概要**
- III **平成27年3月期 通期の見通しと今後の取組**

当社グループは、「先進的マーケティングソリューションとそれを支えるIT機能をもって、変革を求める企業の経営を支援する」という理念のもと、国際化戦略を含めたマーケティング戦略機能に向けた取り組みを推進しております。



- (1) 変動の激しい現在の市場動向にスピーディーな対応を求め特異性を有する諸企業とのアライアンスを実施する。
- (2) 時代の要請に沿ったビジネスモデルを創出し、他社の追従を許さない独自のトータルサービス体制を確立する。
- (3) 短期的には本年度の黒字化を目指し、中期的には利益を飛躍的に伸長させる。

取組内容：コンサルティング収入計上加速 等

当社のIT総合サービス

コンサルティング
設計・開発・運用保守
BPO・サービス

アライアンス

先進的マーケティング
ソリューション

特異性を有する諸企業

マーケティング力
特異技術力

技術開発による事業基盤の強化
製品・サービスの開発

他社の追従を許さない
独自のトータルサービス

高付加価値データセンター

グループ内の連携プレー

平成27年3月期の通期業績予想【連結】



(単位：百万円)

	平成26年3月期 (実績)	平成27年3月期 通期予想			
		上期 (実績)	下期	通期	増減率(%)
売上高	883	358	649	1,007	14.0
営業利益	18	△94	104	10	△44.5
経常利益	4	△133	160	27	552.1
当期純利益	12	△124	146	22	76.3

- 既存大手取引先との受注継続に加えて新規取引先の拡充
- コンサルティング業務推進による新たな収益源の確保
- 新規事業の構築
 - ・イクオス社の化粧品販売
 - ・インスパイア社の有料会員化施策
- 売上原価率上昇の歯止め

コンサルティング/設計/構築

- ・ 大手取引先からの受注は現状維持の見込み
- ・ 新規大手取引先の受注獲得、現在構築中
- ・ パッケージ商品のカスタマイズ受注の推進
- ・ 新たなコンサルティング収入
- ・ 売上原価率上昇の歯止め

運用/保守

- ・ インスパイア社によるWeb更新業務規模の維持、拡大
- ・ システム構築後の保守業務受託

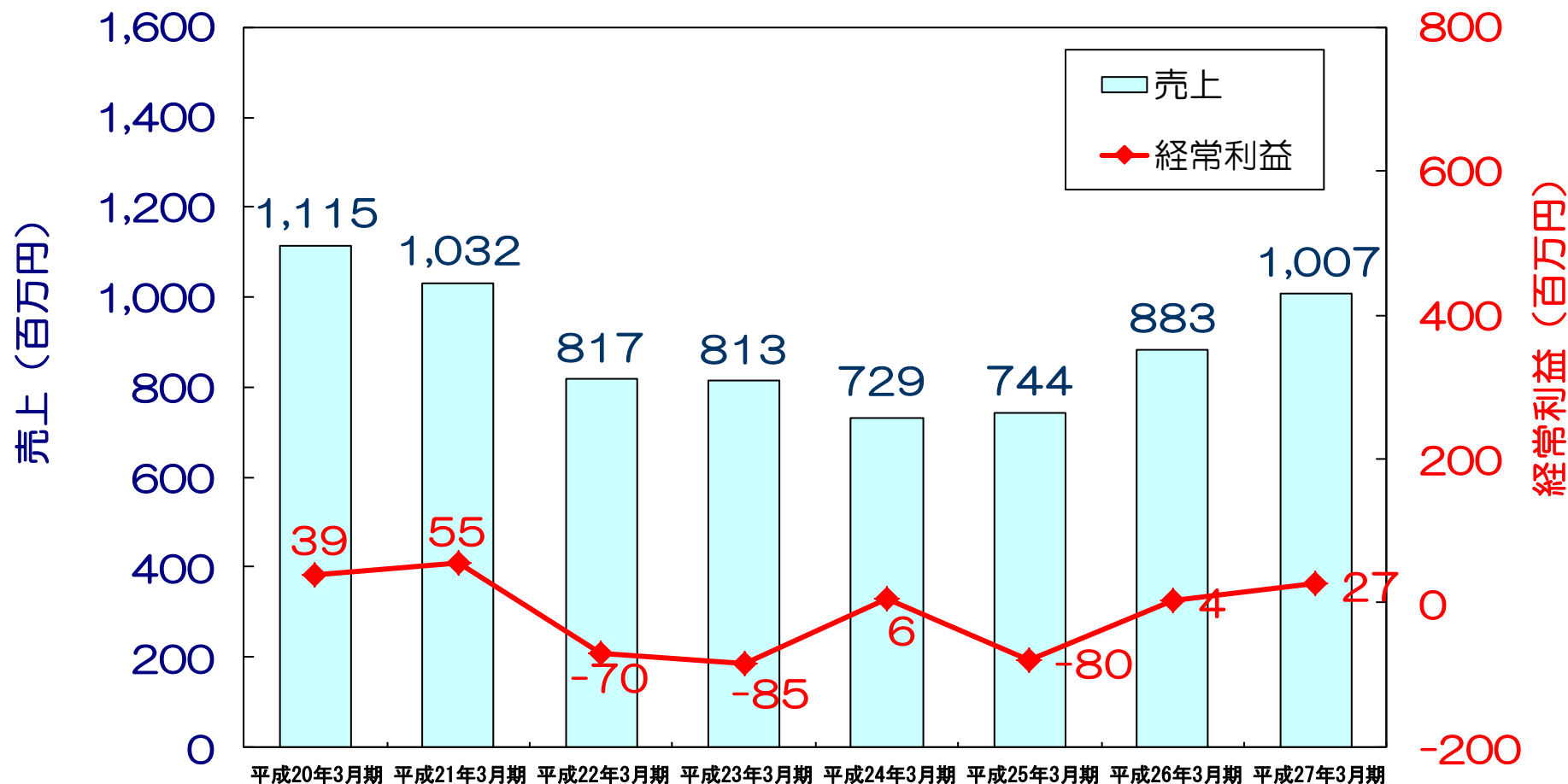
商品販売

- ・ イクオス社の化粧品販売の売上増強
- ・ 事務機器メーカー代理店契約締結

BPO/サービス

- ・ 商工会議所向け検定受付代行システムの再構築による新規取扱い会議所の開拓
- ・ 決済サービスを活用した新たな受注先の開拓
- ・ インスパイア社による有料会員化施策

■グループでの売上V字回復、組織構造の改革による利益体質転換への足場構築
継続的成長に向けた事業推進



■ 事業進捗状況(既存事業の拡大)

先進的マーケティングソリューションカンパニーの実現に向けて事業を推進

◎ IT支援サービスの推進

- ・ 大型案件を含む大企業からのシステム設計開発案件の受注確保

◎ 株式会社北栄へのコンサルティング活動

- ・ 受注が徐々に活発化しており、今後は飛躍的な増加が見込まれる
当社は北栄社に対し、経営体制確立と事業推進力強化へのサポートを継続
※詳細は次頁以降をご参照ください

◎ 自社プロダクトサービスの促進

- ・ スマートフォン、タブレットおよびデジタルサイネージなどの特徴を活かした観光情報発信ソリューション『Easy Navi』の拡充
- ・ 段ボールメーカー向け基幹システム『i-case（アイケース）』の機能向上

◎ サービス・BPOの拡大

- ・ 大手企業とのクレジット決済サービスの新規取扱の開始
- ・ 商工会議所が主催する各種検定試験の業務受託システムの再構築と拡販
- ・ 有料会員組織化に向けた施策推進

■ 株式会社北栄の船舶事故のご報告

株式会社北栄は、所有の海砂利採取船舶が平成**26年11月15日**に貨物船と衝突し、転覆しました。乗員**5名**にけがはなく全員無事でした。

船舶は全損査定の見込みで、保険金で船舶を購入する予定であります。また、流出した燃料油の回収費用、海草養殖や漁業補償につきましても保険金で対応できる見通しです。

休業補償保険にも加入しておりますので、同社の運営には支障は生じませんが、代替船舶を購入し稼動するまでの期間について、チャーター船舶獲得に向けて活動しておりますが、全国的に需要が多く、手配には現在至っておりません。

■ 株式会社北栄の今後の展望

現在那覇空港では、第二滑走路増設工事が行われており、現在はケーソン（鉄筋コンクリートで作った箱で、波を防ぐ防波堤や船を止めるための岸壁として使用）設置工事準備が行われています。この設置工事が終了するのが平成27年秋の予定で、その後砂の投入が行われる予定です。まだ正式な受注には至っておりませんが、沖縄県内業者への発注が原則であり、大規模な受注に向けて体制を整備する計画です。

それまでの期間につきましても、養浜工事等が予定されており、間断なく業務が遂行される予定です。

沖縄県では、これから極めて大規模な埋立工事が行われる予定が示されており、沖縄県発展のためにも北栄社に寄せられる期待が大きく、数年先になりますが、完全連結を視野に入れて体制の整備を図ってまいります。

■ 企業提携

◎ ハミングヘッズ社との提携強化

- ・新開発されたコンピュータウィルス対策ソフトの拡販分野において両者の強みを活かした提携を強化

◎ 子会社イクオスが化粧品販売を開始

- ・株式会社ブイエムシーと提携し、化粧品販売を昨年9月より開始し、安定した売上を継続中

◎ 子会社インスパイアが有料会員を組織化

- ・料飲食店データベースを保有する大手企業と提携し、同社が保有するデータベースを活用し、中高年齢層に特化した会員組織化を開始

■ グループ経営インフラの強化を目的とした組織の見直し

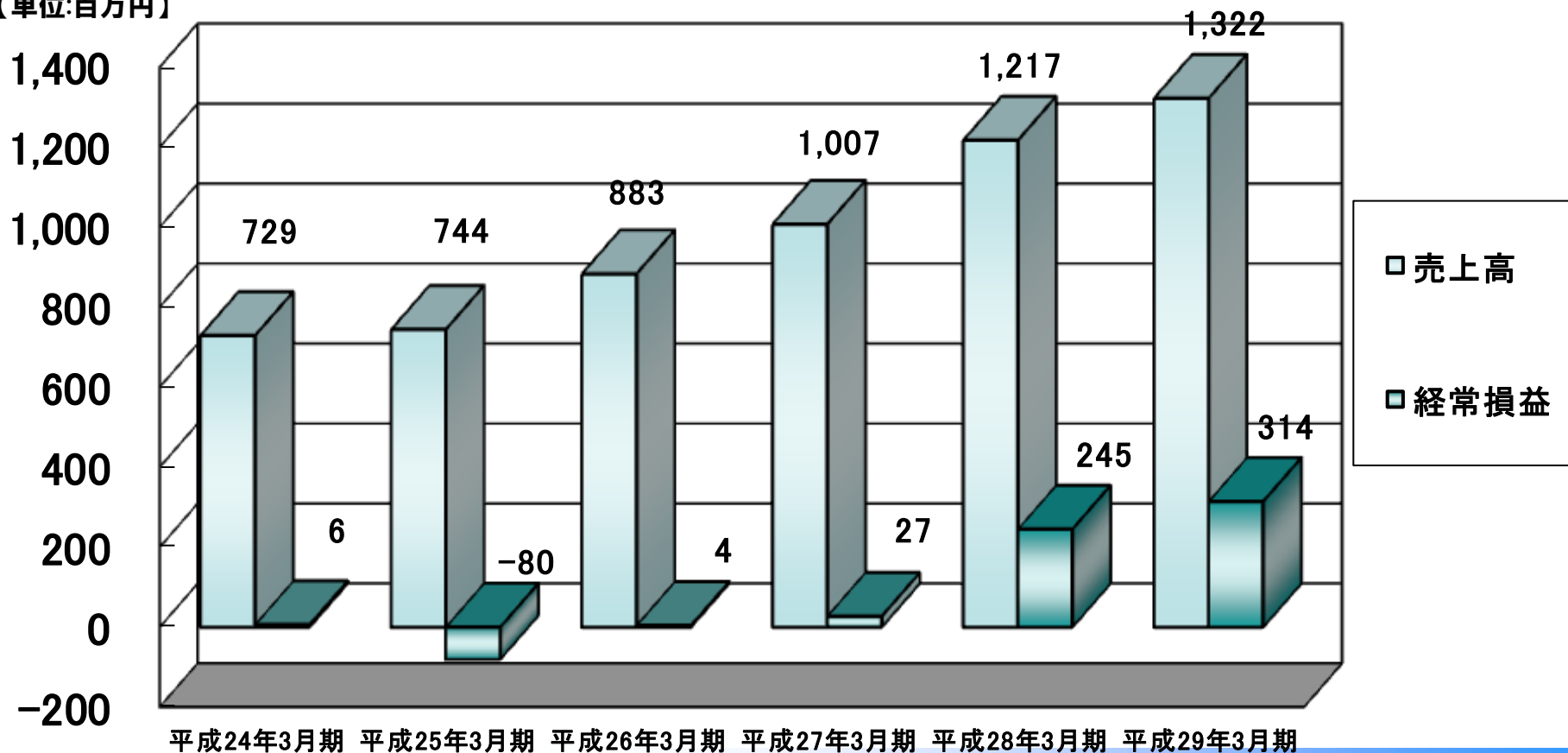
売上原価の適正化、販売管理費の削減に向けて、独立採算体制強化に向けた組織の見直しを実施

3か年計数計画



■ 平成26年3月期	売上高	883百万円	、	経常利益	4百万円
■ 平成27年3月期	売上高	1,007百万円	、	経常利益	27百万円
■ 平成28年3月期	売上高	1,217百万円	、	経常利益	245百万円
■ 平成29年3月期	売上高	1,322百万円	、	経常利益	314百万円

【単位:百万円】



本日は、ありがとうございました。

＜お問い合わせ先＞

担当窓口： イメージ情報開発株式会社

取締役経営管理室長 佐藤 将夫

TEL : 03 - 5217 - 7811

FAX : 03 - 5217 - 7816

URL : <http://www.image-inf.co.jp/>

本資料には、将来にわたる見通しに関する記述が含まれております。これらは現時点での予測であり、実際の業績は、今後の経済動向やその他の社会・政治情勢など様々なリスクや不確定要素により、見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。